

# ウーマンリブの思想と運動

## 関連資料の基礎的研究

**井上輝子** 所員・人間関係学部教授  
**長尾洋子** 所員・表現学部専任講師  
**船橋邦子** 所員・人間関係学部教授

### はじめに

本研究の目的は、1960年代後半から70年代前半にかけての世界的な新しい女性解放運動であるウーマンリブ運動が日本においては、どのように誕生し展開したのか、それが切り拓いた地平を文化的、社会的、政治的側面から分析し、運動の特徴と意義を考え、この運動を歴史化、理論化することである。

ウーマンリブとは、1960年代後半から70年代前半にかけて世界的に展開された新しい女性解放運動を指す。日本でウーマンリブが社会的注目を浴びたのは、1970年10月の国際反戦デーに女性だけで行われたデモが初めといわれる。この後、同年11月14日開催のティーチイン「性差別への告発」、12月8日「女は侵略へ向けて子供を産まない育てない」デモ、1971年8月の「リブ合宿」、1972年5月「全国リブ大会」等々、ウーマンリブ運動は、一挙に広がっていった。それらの運動を中心に推進したグループ「ぐるーぶ闘う女」「集団エス・イー・エックス」などが主体となって、1972年には「リブ新宿センター」が開設され、「優生保護法改悪阻止」闘争等が全国的に展開されていく。

1975年の国際女性年の頃から、女性解放運動は、国連および各国政府による女性差別撤廃への政策的取組と連動しつつ、新しい局面を迎える。70年代初頭のウーマンリブに触発された運動が、キャンパスで、職場で、地域で、裁判闘争やイベントやミニコミ等々多様な形態をとりつつ浸透し、担い手層も拡大していく。その意味では、ウーマンリブ運動は継続していったといえるが、一般的には、1970年から75年までになされた歴史事象としての一連の女性解放運動を指して呼ぶことが多い。

ウーマンリブ運動には、その思想のみならず、自己語り、パフォーマンス、ミニコミ等々、多様なコミュニケーション方法を生み出したことにも特徴がある。この運動が起きる以前には、自分の感情や思想を表現する機会も意欲

も奪われがちであった女性たちが、自分の言葉で、自分の心情や意見を表現し始めたからである。しかも、それらは、組合や政党などの組織を代表して表現されたものではなく、多くは個人または、せいぜい数人のグループからの自発的発信であり、また発信作業自体が初めての経験である場合も多かった。

なかでも、コミュニケーションの媒体として数多くのビラ、リーフレット、機関誌、ニュースレター、およびミニコミ誌などインフォーマルな印刷物は、ウーマンリブ運動の急速な広まりを促し、運動の独自性を社会に印象づけた点で重要である。

しかし、この運動にかかわった草の根女性の数は歴大であり、数量を把握し、また個々人の存在を確認することは、きわめて困難である。多種多様のインフォーマルな印刷物も、全国に散在したまま所在が不明であったり、あったとしても未整理である場合が多い。そのために、これまでのウーマンリブ運動研究はきわめて限られた資料に基づくものであったといえる。たとえ、当事者の言説を中心に分析したものであっても、公開された資料や突出した個人の著作に依拠せざるをえず、運動の広がりや深度を十分に踏まえたとは言いがたい水準と内容にとどまってしまう。

ウーマンリブ運動を歴史化、理論化していくためには、前提として原資料を発掘・収集し、閲覧に供するべくデータベース化する必要がある。本研究の第一の課題は、この一連の作業である。

本稿は「ウーマンリブの思想と行動」という本格的研究の前提となる一次資料（1970～75年に発行され、現在「リブ新宿センター資料保存会」によって所蔵されているものを中心に）の概要を、その整備状況と共に報告するものである。なお、本稿における個人名・通称および所属グループについては、女たちの現在を問う会（編）『全共闘からリブへ』（インパクト出版会 1996）など公開された文献をふまえて照合した。

## 1. ウーマンリブ関連の一次資料について

ウーマンリブ運動に関して、もっとも多くの資料を収集し整理した資料集は、溝口明代・佐伯洋子・三木草子が編んだ膨大な資料集『資料日本ウーマン・リブ史』全3巻（1992 - 95年）である。ウーマンリブ運動の全貌を知る上で、貴重な資料集であり、最近ようやく本格化し始めたウーマンリブ研究の多くは、この資料集に依拠したものと見える。

この資料集は、年代順（第1巻は1969年から1972年、第2巻は1972年から

1975年、第3巻は1975年から1980年)および運動を担ったグループ別に資料が特定できるよう編集されている。

グループ毎にまとめられているのには理由がある。この資料集の編者たちは自らウーマンリブ運動を担った活動家でもある。当事者＝編者にしてみれば、「リブ運動は、女のトータルな解放をめざすもの」だから「テーマ別・問題別」ではなく「グループ別」に配列することがふさわしい。つまり、こうした分類と配列によって、ウーマンリブ運動の展開と思想を、より実態に即したかたちで提示できると考えたのだろう。

この資料集はインフォーマルな印刷物も含め、可能なかぎり網羅的にウーマンリブの一次資料を掲載する意図のもとに編まれた。原資料はもともとタイプで打たれたものもあったが、手書きでイラストつきのもも多数存在した。これらは資料集出版の過程ですべて活字化された。

こうした編集方針のメリットは言うまでもなく、紙面を効率的に活用して、多くの情報をコンパクトに、容易に判読可能な形で提供するためであり、読者はまちがいなくその恩恵をこうむるだろう。

しかし、その反面、原資料の紙質や印刷技術などコミュニケーション媒体の物質性から得られるウーマンリブ運動の手ざわり、紙面デザインや筆跡、イラスト等から発せられる息づかいは犠牲になってしまったといえよう(もちろん内容や修辞、文体から伝わってくる手ざわりや息づかいというものもあり、それは資料集からもうかがい知ることにはできる)。

自らの思いや考え、すなわち「声」を、個人や少人数のグループ単位で発すること自体が「事件」であったことを想起し、彼女たちがそういった「声」を発せざるを得なかったのはなぜか、について考えるとき、ウーマンリブ運動の手ざわりや息づかい 少なくともその痕跡 をとどめた原資料の整備は必要不可欠かつ急務である。

本研究会では、原資料自体がウーマンリブ運動の特徴を表現しているという認識のもと、「リブ新宿センター資料保存会」および、旧住民図書館所蔵のミニコミを保存・公開している埼玉大学共生社会研究センターを訪ね、謄写版刷りの原資料に目を通し、原形に限りなく近い形で複写し、ファイリングした。さらに収集資料を分類し、リスト化する作業を行った。

今回複写した資料は400点余りでA3版(40ページ)クリアファイルおよびB4版(80ページ)クリアファイル計22冊に整理した。この中には、先に述べたウーマンリブ運動に関して、もっとも多くの資料を収集し整理した溝口明代・佐伯洋子・三木草子が編んだ膨大な資料集『資料日本ウーマン・リ

『ブ史』全3巻(1992-95年)では漏れている新たな一次資料が含まれており、これは本研究の大きな収穫である。

## 2. 収集元の資料群について

### 1) リブ新宿センター資料保存会の所蔵資料

「リブ新宿センター資料保存会」(以下「保存会」)の所蔵資料は、ウーマンリブ関係の一次資料でもっとも数が多く、また整理が進んでいる。

「リブ新宿センター」は、リブグループが共同で使用できるスペースを得て、力をあわせて大きな力を発揮したい、地方の女性と交流する場がほしいとの趣旨から、1972年5月「全国リブ大会」でカンパを呼びかけ、1972年9月に開設した。発足当時は運動を中心的に推進したグループである「ぐるーぷ闘う女」「思想集団エス・イー・エックス」「闘う女性同盟」のメンバーが主体となって、共同で運営した。新宿駅に近い渋谷区代々木のマンションの一室にあったこのセンターは、1977年に閉鎖されるまでウーマンリブ運動の拠点としての役割を果たした。主な活動として「リブニュースこの道ひとすじ」やパンフレット、ピラの発行、法律、避妊・中絶、離婚・家出などの相談、社会に向けた抗議行動、ミュージカルの公演があげられる。

「保存会」の説明によると、「リブ新宿センター」を構成したグループの多くは、72年9月、センターの開所以前から連絡を取り合いつつ、個別の活動をしていた。それらのグループが開所以前に発行したものも、「リブ新宿センター」の活動につながったとの考えから保存会では資料を保存してきたという。

またこのコレクションのなかには「優生保護法改悪阻止実行委員会」など、「リブ新宿センター」が他の団体や個人とともに取り組んだ活動の記録、「リブ新宿センター」のメンバーが登場した他団体の機関誌も部分的に含まれている。したがって、「保存会」所蔵資料は、総体としての「リブ新宿センター」その運営の中核を担ったグループ、および「リブ新宿センター」に参加した団体が1970～77年にかけて発行した印刷物で保存作業開始当時(1983年)に残存していたもの全てをコピーし、年代順にファイリングしたものである。作業期間は1983年から1994年にわたった。

「保存会」では所蔵資料を「ピラ」「ニュース」「パンフレット」の3つに分け、それぞれ年代順にファイルして保存している。また、発行時期、タイトル、発行者、備考(サイズ、手書きかタイプかの別)といった項目をたててリスト化している。発行時期については、発行年月日の記載がないものにつ

いては、連絡先住所や年表などを参考に年月を推定したとされる。この「保存会」所蔵資料は、1994年、財団法人横浜市女性協会が資料の散逸や破損を防ぎ、開かれた場で公開するために光ディスクに保存し、その後横浜女性フォーラムで一般に公開されている。これ以外に「保存会」所蔵資料の複写版を保管しているのは大阪女子大学女性学研究センター、お茶の水女子大学の2ヶ所しかなく、アクセスが非常に限られている。その意味で本学において(これらの資料を)保存および整理することは、より広く1970年代前半のウーマンリブ運動を知るための手がかりを提供する試みとして、大きな意義があるう。

### 3. 本研究における資料収集・整理の方針と実際

本研究における資料収集・整理の成果は、表1-1、表2、表3のとおりである。

#### 1) 分類方法

主に、発行形態(単発的あるいは逐次刊行物)1件あたりの情報量、想定される利用法を考慮して以下の3種類に分類した。

- A ビラ・チラシ・ポスター
- B パンフレット・資料
- C 定期刊行物

#### 2) 整理項目、配列

本研究会では、基本となるデータベースとして、タイトルと発行年月日、発行者の項目を設け、発行物を時系列的に通覧できる表をエクセルで作成した。今回の報告では紙面の都合上、下記のように再整理した表を掲載している。

#### 表1-1 . A ビラ・チラシ・ポスター

今回の報告の中心となっている「保存会」所蔵資料403件<sup>(1)</sup>のうち、このカテゴリーに入るものが約280件と最も数が多い。すべて一律に時系列に並べることで、ウーマンリブ運動の争点の移り変わりや、どれだけ活発に活動していたかなどを知る指標となりうる発行数や頻度を示すこともできたが、こ

(1) 逐次刊行物の各号をそれぞれ1件とした場合。

ここではあえて発行者ごとに、時系列的に並べてみた。なぜなら、特定の発行主体が突出して多数のビラ類を出しており、これらのグループのビラ類発行状況をおさえれば、概況を知ることができるからである。とくに冒頭7団体は「リブ新宿センター」そのもの、または密接に関わる団体であり、これらの団体が発行するものだけでビラ類全体の大半を占めることがわかる。

原則として発行部数の多い団体または個人から少ないものへ、という順番に並べた。例外として、3番目の団体「リブセンター世話人」名義の発行件数は少ないが、実際には「リブ新宿センター」の中核をなす面々が出した事実を踏まえて、「リブ新宿センター」の次に配置した。

さらに、ウーマンリブ運動におけるコミュニケーションは、個人や少人数のグループ単位による表現・発信を特徴としていることを踏まえ、各発行主体ごとにどのようなビラ類を発行していたのか分かりやすいようにした。

#### 表2．B パンフレット・資料

27件にのぼるパンフレット・資料類は発行年月日順に並べた。

#### 表3．C 定期刊行物

現段階では、各号を1件としてカウントし、表化した。この方式だと33件の存在が確認できた(タイトルごとに数えると6種)。

## 4．資料紹介

### 1) ビラ・チラシ・ポスター

#### 概観

ウーマンリブ運動におけるビラとは、主張を簡潔に述べたり、集会の告知を行うなど、メッセージを単発的に、コンパクトに伝達する主要なメディアのひとつであり、おびただしい数が作成された。言葉だけではなく、字体にも工夫が見られ、挿絵も盛り込まれている。ビラはすなわち、ウーマンリブ運動を担った女たちによって次々に吐き出される言葉であり、視覚的表現であった。そこで発せられた「声」は必ずしも断片的なままでは終わらず、しばしば独自の調査結果を踏まえた主張を形成し、また資料集、パンフレット、ミニコミなど持続的に読まれることを意図した印刷物の草稿ともなった。

たとえば、著名な「便所からの解放」という文章は、実際に配布された手書きのものにして6～7ページ(版によって異なる)書き手である田中美津の著書『いのちの女たちへ』(増補新装版、2004年、パンドラ)掲載版として

活字化されたものでは15ページにわたる長さのものであるが、これも元々は1枚のピラに寄せた文章として世に出されたものである。

表1-1にそってこのピラ類を概観すると、まず、発行の主体として30の団体、27名の個人が認められる<sup>(2)</sup>。各発行者によるピラ類の数は表1-2のとおりである。

なかでも突出しているのは「ぐるーぷ闘うおんな」である。本稿3.1)で述べたように、当グループは「思想集団エス・イー・エックス」、「東京こむうぬ」、「闘う女性同盟」、「緋文字」とともに「リブ新宿センター」を構成していた。これらの6団体の名義で出されているものに「リブセンター世話人」を加えると、それだけで168件、「保存会」所蔵ピラ類の約6割を占める。詳細な分析は本稿の目的を超えてしまうので、もっとも多数のピラを発行した「ぐるーぷ闘うおんな」を紹介し、主に表から読み取ることのできる側面に限って、その特色を述べたい。

#### 「ぐるーぷ闘うおんな」

ウーマンリブ運動の街頭デビューといわれる1970年10月21日のデモを実施したグループであり、本研究が注目している1970年～1975年を通じて重要な役割を果たした。構成メンバーは、田中美津、ノンノンこと北山黎子、町野(狩戸)美和(「カリド」とも)、武田美由紀、アリ、スガ(コ)、サチ、ココちゃん、大平さん、フーちゃん、若林苗子、生原玲子(「のら」)、国久(木村)和子らである(女たちの現在を問う会(編)『全共闘からリブへ』インパクト出版会、1996年)。

「ぐるーぷ闘うおんな」によるピラ類の発行時期は、ウーマンリブ運動初期の1970年10月から1972年1月までに集中している。定期刊行物がウーマンリブ運動の主要なコミュニケーション媒体として登場する以前は、告知の必要性が生じるたびに発行されるピラ類がコミュニケーションに大きな役割を果たしていたことがうかがえる。

表1-1で「タイトル」として記載した文言は、実際には個々のピラの中で最も視覚的に強調されたメッセージやトピックの提示部分にあたる。ここから「ぐるーぷ闘うおんな」の提起した問題、提示したテーマやモチーフなどを取り出してみると下記ようになる。

定義に関わるものとして、

(2) 個人はニックネームを用いているので重複している可能性もある

- 女の定義に関わるもの：女とは生殖器を持つ労働商品か、母と慰安婦、女に権威主義は要らない、女は自らを革命する、など
- 私の定義に関わるもの：私の歴史が復権を迫る
- ウーマンリブの定義に関わるもの：ウーマンリブとは、問われているものは何か、リブと70年代階Q（ママ）闘争とのかかわり、何故リブは入管を闘うか、など
- 来るべき社会像の定義、展望に関わるもの：新しい社会、過去から未来へ

取り組みの対象、テーマを表すものとして、

女の一人暮らし、出産の自由、中絶禁止、母と慰安婦、反戦、侵略差別、入管問題

運動論（方法、倫理）に関わるものとして

味方の中の敵とは何か、怨念は肩代わりできない、怨念が戦いを蘇生させる、リブを闘う、リブの戦略・戦術を考える、女は革命に飛翔する、もう支援にはいかない

呼びかけまたは応答に関わるもの

「ぐるーぶ闘う女」に寄せられた意見、手紙、闘う女から三里塚の／闘う農民へ、主婦よ女の反戦デモに参加を、姉よ妹よ動き出す時が来た、救対アピール、春も盛りだというのにまだ穴からでてこないあなたへ、リブ合宿を創ろう

このように、ピラは単に集会・デモの告知や特定の主張をするメディアにとどまらない。それは周囲に呼びかけ、応答し、特定の対象やテーマについて声を発するという、運動の実際の展開を担うメディアであったと同時に運動そのものと主体を再定義する試みであり、運動論の模索でもあった。その意味では既存の言説や秩序を問いたすメタ的な次元での挑戦でもあったといえる。このように「ぐるーぶ闘う女」のピラ類は、ウーマンリブ運動の射程を実際のレベルとメタ的なレベル双方で解明する大きな手がかりとなる。

## 2) 定期刊行物「リブニュース この道ひとすじ」

ここでは、「C 定期刊行物」のなかでもっともまとまった形で収集することのできた「リブニュースこの道ひとすじ」を書誌的な側面から紹介する。

「リブニュースこの道ひとすじ」は、「リブ新宿センター」が1972年10月に創刊し、ほぼ月1回発行したニュースレターである。創刊号を1号とし、最終は1976年2月発行の16号となっている。7号が欠番となっているが発行時

の単純ミスによるもので「ミニ版」を1973年に2回発行しているため18回発行されたことになる。

サイズ、紙面の形式、印刷方法、表現スタイルは一定しておらず、自由自在で多様性に富んでいる。ページ数はA3版8ページ、B5版24ページ、B4版8ページとほぼ一定している。価格は1部50円だが定期購読者のほか集会などで販売された。

創刊号、第2号はA3サイズ版タイプ印刷だが3号目にあたるミニ版から8号まではB5版で謄写版、9号からB4版である。発行も定期的なものではなく、1972年の創刊号以来、1973年に7回、1974年8回、1975年1回、1976年1回という発行回数となっている。

「保存会」によると手書きのガリ版刷りによるため1回に刷れる枚数が少なかったため、必要に応じてガリ版を切り直したり、あるいはタイプ印刷にして増し刷りしたそう。定期購読者の数は関係者によると記録から正確には把握することは困難だということだが、15号、10ページの「悲願！リブニュース一万部発行」という記事のなかに現在5000部と記されていたことから、ウーマンリブ運動の節目を迎える1975年の時点で5000部程度が読まれていたと推測できる。

編集には、「リブ新宿センター」で共同生活をしていた「ぐるーぶ闘う女」「思想集団エス・イー・エックス」の田中美津、森節子、武田美由紀、米津知子らが中心となってあつた。1975年2月刊行の16号で終わっているが、この号は4ページと少なく「夫の暴力からのがれ自立（ひとりだち）をめざす女の家」の設立会がトップ記事で終刊の辞はない。中心的メンバー数名が共同生活そのものが運動である日常からの脱出を意図したのか、1975年メキシコで開催された第1回世界女性会議へ参加したり、アメリカに移住するなかで、運動が衰退し、1977年に「リブ新宿センター」は閉鎖された。その意味では、「リブニュースこの道ひとすじ」自体がウーマンリブ運動の歴史を物語っている。

記事の内容に関しては、優生保護法改悪、キーセン観光に象徴されるアジアへの性侵略、子殺し女性裁判支援、「障害者」排除に抗議した「モナリザスプレー事件」など運動の現状、問題分析、身体に関する情報、離婚や中絶などからだの相談、売春、メンズリブ、天皇制など多岐にわたる紙面を構成する内容から、運動と日常が一体となっていることが読み取れる。

## 5. ウーマンリブ関係資料の現状

当研究会が今回複写・整理した資料は、膨大なウーマンリブ運動関係の資料の一部に過ぎないことは言うまでもない。考えられる資料の全体像を、概略すると以下のようになる。

1) 1970年代前半の運動の中で、表現され、発信されたもの

A ビラ・チラシ・ポスター

B パンフレット・資料

A Bともに、今回は、「保存会」所蔵のものだけをリストアップしたが、これ以外に、運動参加者それぞれが個人で所蔵しているものが、多々あると推測される。

C 定期刊行物

運動を広め、持続させるために、集会や講座の主催者による主張と呼びかけのメディアとして、ウーマンリブ運動のなかから、多くの定期刊行物が生み出された。今回、整理紹介したもの以外にも、ほぼ同時期に発刊されていた主要なものだけでも、『れ・ふあむ』（1963年4月10日創刊、女性問題研究会）『無名通信』（1967年3月 - 1979年、河野信子発行）『婦人通信』（1971年3月創刊）『ネオリブ』（1972年7月 - 1973年9月 中ピ連）『女エロス』（1973年8月1日 - 1982年、季刊、社会評論社）『女性解放とコミュニケーション 新しい地平』（1974年1月1日 - 1975年8月15日「市民に権利の回復を！市民連合」）等々がある。これらの内には、埼玉大学共生社会研究センター所蔵のものや、当研究会メンバーが個人的に所有しているものなどもある。だが、ミニコミの中には、運動の終息とともに、廃刊になったものも多いため、現在入手できるものは、多くはないので、これら定期刊行物の収集・整理が急がれる。

D 出版物

1970年代前半の運動のなかから生まれた出版物は多い。以下に、手元にあるものを、いくつか紹介しておく。

亜紀書房編集部『性差別への告発』1971年、亜紀書房

「解放のための討論」（1970年11月14日開催の討論会の記録）、資料日本編、アメリカ女性解放運動の歴史と現状 の3部からなる、日本で出版されたリブ運動最初の出版物。

田中美津『いのちの女たちへ とり乱しウーマン・リブ論』

運動のリーダー的存在だった田中美津の主著。1972年に田畑書店から単行本として刊行され、その後、1992年に河出書房新社より文庫版として刊行、2001年にパンドラから新装版が出されるなど、ウーマンリブ運動を知る原点として、読み継がれている。

佐伯洋子ほか著『女の思想』（イラスト、会田フミ、サンポウブックス、1972年）

1971年のリブ合宿で知り合った8名の女たちによる共著で、後に『女エロス』創刊を促すきっかけとなった。出版元のサンポウブックスが消滅したこともあり、現在では入手困難となっている。

このほか、1970年代には、『女から女たちへ アメリカ女性解放運動レポート』（合同出版、1971年）、『女のからだ』（ボストン「女の健康の本」集団著、秋山洋子・桑原和代・山田美津子訳編、合同出版、1974年）等、欧米リブ運動の中で生まれた作品の翻訳も、多く出版された。

#### E 映像作品

「ミュージカル『女の解放』1975」（リブ新宿センターを中心に組織された「ドテカボー座」によって1974年から1980年まで各地で上演されたオムニバス形式の劇の映像。当時脚本や演出を担当した田中美津らが映像を修復し、ビデオ作品として販売準備中）

## 2) 運動の参加者が後に自身とリブとの関係について表現したもの

### A 出版物

主たるものに、ウルフの会のメンバーで、『女から女たちへ アメリカ女性解放運動レポート』等の翻訳にかかわり、リブ運動から女性学へ軌跡を歩んだ秋山洋子による『リブ私史ノート』（インパクト出版会、1993）や、女たちの現在を問う会が、『銃後史ノート』最終号として編んだ『全共闘からリブへ』（インパクト出版会、1996年）などがある。

### B 映像作品

「極私的エロス・恋歌1974」（監督：原一男、1974年、98分、製作：疾走プロダクション、製作：小林佐智子）

「ぐるーぷ闘うおんな」、「東京こむうぬ」、「リブ新宿センター」で中心的な存在であった武田美由紀の沖縄での姿を、かつての恋人であった原一男監督が記録した映画。トノンレバン国際独立映画祭でグランプリ受賞。「ルッキング・フォー・フミコ 女たちの自分探し」（制作・監督：栗原奈々子、1993年、57分、シグロ発売）

「30年のシスターフッド ウーマンリブの女たち」(構成・編集・撮影：  
山上千恵子・瀬山紀子、企画：女たちの歴史プロジェクト、2004年、57  
分、ワークイン)

### 3) リブ運動の中で発生し、長期にわたって継続的に発信されてきたミニ コミ

『おんなの叛逆』(1971年5月5日創刊、編集・発行：久野綾子)、『あごら』  
(1972年2月15日創刊、BOC出版部)等、ウーマンリブ運動の中で創刊され、  
現在まで刊行中のミニコミもいくつかあり、ウーマンリブ運動の広がりと継  
続を示す重要な資料といえる。

## おわりに

本稿では、「保存会」所蔵の資料のみを整理し、簡単な解説を付した。今後の課題として、5で概観した資料の収集・整理を継続していくことが課題として残されている。また埼玉大学共生社会研究センター所蔵になる、旧住民図書館所蔵のミニコミ類は、他に保管されている所がなくきわめて貴重な資料なのでデータベース化することが必要である。しかしながら同センター所蔵の資料は、定期刊行物の号数に欠号があるなど、十全ではない。そのため運動にかかわった個人に所在を確認し、散在している資料を収集する作業も継続的な課題である。さらにウーマンリブ運動に関わった女性たちや、ミニコミ発行を続けている女性たちへの聞き取り調査によって、いわば当事者自身によるリブ経験の意味づけを記録し、日本のウーマンリブ運動の主張と運動の特徴を明らかにする作業も重要である。このように、ウーマンリブが切り拓いた地平を、発信された当時の資料からできる限り復元し、ウーマンリブ運動が孕んでいた思想的インパクトを描き出す試みが、今後も継続して望まれる。

表 1-1 A . ピラ・チラシ・ポスター

## グループ闘うおんな

タイトル	発行年	月	日	備考
女の一人暮らしと出産の自由を守り闘う 共闘会議結成へ向けて	1970	10		
ぐるーぶ闘うおんなに寄せられたもろも ろの意見	1970	11		
過去から未来へ	1970	11	14	ぐるーぶ闘うおんな、木村久子
女は生殖器を持つ労働力商品か	1970	11		
ウーマンリブとは何か	1970	11		
味方の中の敵とは何か	1970	11		
中禁体制解体へ向けて	1970	11	26	
母と慰安婦との出会い	1970	11	未	
闘う女から三里塚の農民へ	1970	11	未	
怨念は肩代わりできない	*	*	*	
闘う女から闘う農民へ	*	*	*	
中禁体制とはなにか	1970	11		
主婦よ、12.8のおんなの反戦デモに参加 を	1970	12		
女性解放による新しい社会の創造	1970	12		闘うおんな。
姉よ妹よ動き出す時が来た	1970	12	2	
女は侵略へ向けて子供を生まない育てな い	1970	12	8	
救対アピール	1970	12	8	
12.8侵略差別と戦う女集会	1970	12	8	千葉大ぐるーぶ闘うおんな
リブを闘う	1970	12	12	
'70ぐるーぶ闘うおんな 総括集会のお 知らせ	1970	12	12	
ごまめの歯切りを女兵士に止揚せよ	1970	12	18	
味方の中の敵は何か	1970	12	18	
'70ぐるーぶ闘うおんな総括集会	1970	12	23	
リブが今年をきり開く	1971	1		
問われているものは何か	1971	1		
おんな解放ブツ通し討論集会	1971	1	9	
裸の王様は誰だ	1971	1		
1.24リブの戦略、戦術を考える リブを 闘うおんな討論会	1971	1	24	
小さな火花でも広野を焼き尽くす	1971	1	28	
おんなは誰のためにも愛さない	1971	1	未	
おんな解放連絡会議だより	1971	1	未	
おんな解放関西集会	1971	2	6	
子供と生きる女集会	1971	2	14	
おんな解放2.20拡大連絡会議	1971	2		
コレクティブが現状を切り拓く	1971	3		ぐるーぶ闘うおんな / めだか
3.8国際婦人デーへ向けてリブと70年代 階級闘争とのかかわり	1971	3	8	
女に権威主義は要らない	1971	3	8	ぐるーぶ闘うおんな / めだか
おしゃべりからの飛躍 3.8総括集会に 向けて	1971	3	8	ぐるーぶ闘うおんな / くじら

もう「支援」には行かない	1971			闘う女 法大リブ ノンノン
女は自らを革命する	1971	4	13	ぐるーぶ闘うおんな / めだか
怨念が闘いを蘇生させる	1971	4		ぐるーぶ闘うおんな / めだか
4.19に向けての結集 を呼びかけるピラ に関して	1971	4	19	ぐるーぶ闘うおんな / めだか
劉道昌君支援行動に向けて	1971	4	21	ぐるーぶ闘うおんな / めだか
今の入管闘争が気に入らない じゃどう する！ん？	1971	4	28	ぐるーぶ闘うおんな / めだか
あなたは劉道昌君を知ってますか	1971	4	未	ぐるーぶ闘うおんな / めだか
私の歴史が復権を迫る	1971	4		ぐるーぶ闘うおんな / めだか
入管リブ戦線に結集せよ	1971	4	19	ぐるーぶ闘うおんな / くじら
何故リブは入管を問うか リブ入管戦線 結成へ向けて	1971	4	21	ぐるーぶ闘うおんな / くじら
女は革命に飛翔する	1971	4		ぐるーぶ闘うおんな / くじら
劉道昌君支援法務省前座込みに結集せ よ！	1971	4	19	
劉道昌君のハnst突入はあなたに何を 問うか	1971	4	20	
中国人青年劉道昌のハnstを支持する	1971	4	未	
春も盛りだというのにまだ穴から出てこ ないあなたへ	1971	4	27	
安田講堂前に行こう！	1971	4	未	
何故リブは入管を問うか！リブ入管戦線 結成宣言	1971	4	未	
まにあうかな 5月8日の集会を含めた お知らせなんだけど	1971	5	6	
5.8女の子殺しに連帯する集会とデモ	1971	5	8	
5.8女の子殺しに連帯する集会デモ	1971	5	8	
おんどろおんどろ女が子供を殺してく	1971	5	8	
すべての子供と共に生きようとしている 女たちへ！	1971	5	16	
中禁体制とは何か？	1971	5		
ぐるーぶ闘うおんなにきた手紙	1971	5		佐藤
おんな NEW 便所からの解放	1971	上期		
8月リブ合宿を創ろう	1971	6		
8月リブの合宿を創ろう	1971	7		
一歩後退、二歩前進	1971	9	1	
10.21おんなの集会	1971	10	21	
スガ&タケの沖縄行き	1972	1		
保安処分には迫られて	1972	1		
1.21保安処分を闘うリブ集会	1972	1		
子供を持つ女たちに呼びかけます	1972	1		

#### リブ新宿センター

産める社会 に向けて 優生保護法改 悪阻止を闘おう	1972			
リブ新宿センター(祝 開所記念 一途に 生きる女を囲んで思いのたけを語る会	1972	10		
19日リブ新宿センター運営会議に向けて	1972	11		

12.8パールハーバーを忘れない 女たちの反戦集会デモ	1972	12		
リブの正月	1972	12		
土曜の夜のティーチン プログラム	1973	3		
土曜の夜のティーチン	1973	3		
土曜の夜のティーチン	1973	4		
嘔吐する陰謀が今国会で企まれつつあるのです	1973	5		
優生保護法改悪阻止最新情報	1973	6		
あんけいと	1973			
来ないとソソるリブ合宿またやるぜ	1973			
アジアの女性を卑しめる エコノミックアニマルを許さない	1973	11		
産める社会を、産みたい社会を！優生保護法改悪を許さないゾ！	1973	11		
四たび優生保護法改悪国会上程へ	1973	12		
韓国梨花女子大の「反日」アピールに応えよう	1973	12		
恥を知れ!!キーセン目当ての観光団「日本航空」「大韓航空」は性侵略加担を即ちにやめよ!!	1973	12		
生長の家へ抗議の大デモを！	1974	3		
キーセン観光反対！優生保護法改悪阻止	1974	3		
墮胎罪撤廃に向けてニッポンの歴史をみてみよう	1974			
3.24優生保護法の改悪を阻止する1000人集会	1974	3		
悪玉を脅かし善玉？のファンドシをしめ直させよう	1974	3		
優生保護法改悪案を今こそ廃案に追いこもう	1974	3		
リブ新宿センターはナニしてる？	1974	4		
いよいよヤマ場！優生保護法改悪断固阻止！	1974	4		
今国会に上程中の優生保護法改悪案の成立を阻止しよう	1974	4		
子殺しはあなただ(朝日新聞に抗議しよう)	1974	4		
優生保護法改悪案が強行採決(衆議院)された！許すな！	1974	5		
ABOLISH THE EUGENIC PROTECTION LAW	1974	6		
ミューズカル女の解放	1974	12		
リブ新宿センターの5月スケジュール	1975	4		
リブ新宿センターからあなたに臨時ニュース	1975	4		
ベトナム人民の解放に続け6.15集会に私達はこう参加する	1975	6		
女が変わらなければ帝国主義には勝てないんだ!!6.15集会に私達はこう参加する	1975	6		

今リブ新宿センターでは	1975	7		
リブ新宿センターとは	1975	0		
週刊マスコミチェック	1975	0		
新ほんものボクちゃん	1975	0		
もうだまされないゾ 婦人年 天皇臨席 国際婦人年記念 日本婦人問題会議に抗議しよう	1975	11		
天皇臨席官製婦人会議に抗議する	1975	11		
リブ新宿センター休館のごあいさつ	1977	5		

#### リブセンター世話人

「世界平和」=「男らしさの大義」に殺されてたまるか	1972	5	18	リブセンター世話人一同
リブセンターを創ろう!!ゾヨ	1972	6		リブセンター世話人会準備会
リブ大会後の報告	1972	7		リブセンター世話人会準備会

#### 思想集団 エス・イー・エックス

思想集団 エス・イー・エックス	1970	5	14	
10.21を契機として思想集団エス・イー・エックス総括	1970	11	3	
1月9日保安処分をもともしないリブ集会	1971	1	9	集団エス・イー・エックス
すべての働く者達、とりわけ女達	1971	4		集団エス・イー・エックス
はてしなく欲情し、はてしなく奪え	1971	8		集団エス・イー・エックス
共同生活へのお誘い	1971	8		集団エス・イー・エックス
飢えた女を利用した権力マスコミのリブ弾圧を許さないぞ	1971	8		集団エス・イー・エックス
どうしてこんなに鈍感なのか!	1971	8		集団エス・イー・エックス
女達よ“何か楽しいこと”は自分で創るんだ	1971	11	3	集団エス・イー・エックス
自らの肉体を取り戻すために	1971	11		集団エス・イー・エックス
学生リブへ向けて	1971	11		集団エス・イー・エックス
来年は何をしようか!という今年最後のリブ集会	1971	12	19	集団エスイーエックス
競争社会の不安で硬直した心身をわずかつつでも開いてゆけ	1971	1		エス・イー・エックス
アピール	1971	4		エス・イー・エックス
11月3日北里大学祭へ結集せよ	1971	11		エス・イー・エックス
働く女から働く女へ	1972	12		エス・イー・エックス
働きたい女へ 第一回リブ大会に向けて	1972	1		エス・イー・エックス

#### 東京こむうぬ

花いちもんめ	1973	3		
東京こむうぬは産める状況をつくる	1973	5		
6.30、7.1産めない産まされる状況から産まない産みたい社会へ	1973	6		
「日本の恥部」はお前の顔だ!!	1974	3		
生長の家へ抗議デモを!	1974	3		
花いちもんめ スケジュール	1974	3		

つのだせ、やりだせ、目玉だせ	1973	3		東京こむうぬ アリ
東京こむうぬは、産める状況をつくる	1973	7		東京こむうぬ アリ
また再度国会にまかり出る中禁法に子持ちの女は何をいわんや	1973	3		東京こむうぬ スガ
とにもかくにも身ふたつになった女が跳べるために	1973	3		東京こむうぬ タケ
なぜ私達は子供をつれて連合赤軍統一公判(対権力)にのぞむのか	1973	3		東京こむうぬ タケ
母乳までPCBに汚染された現在女にとって「産む、育てる」を考える大集会	1973	4		東京こむうぬ タケ
子供かかえた女のゆくすえは、子供かかえない女より、ふらちかもしれない	1973	5		東京こむうぬ タケ
ゆくがゆくが おんなの海	1973	5		東京こむうぬ タケ
楽しさだけを追求する寺子屋づくり序文	1973	10		東京こむうぬ タケ
女のために、保母のために、教師のために、子供のために、あらためて楽しさだけを追及する寺子屋づくり序文	1973	10		東京こむうぬ タケ
子供を返して！と叫ぶ女教師に今、思うこと	1973	5		東京こむうぬ 真北けい子
デパートだけが儲ける“母の日”なんてケッ！ 店内にベビーカーを設置せよ	1974	5		

#### 闘う女性同盟

完全なる 女 の復権のために変革主体・革命主体の創出を	1970	11		
女は「生きる」を革命せよ！執着、固執せよ！飛翔せよ！対峙せよ！	1970	12		
女にとって労基法改悪とは何か	1970	12		
第二回「労基法」を闘うシンポジウムに結集せよ	1971	3	21	
女が「生きる」とは何か	1971	4		
全国リブ合宿に向けて	1971	8		
女は「生きる」を革命せよ	1971	10	21	
ひきずり生きるぞ 女の地獄	1973	3		
女は色がわりするアメなぞしゃぶらない	1973	5		
「優生保護法と保安処分」分科会報告記他	1973	7		
差別は、“～らしさ”を装って	1973	10		
12.16ファシズムを支える刑法改悪 保安処分 を叩きつぶせ	1973	12		
墮胎罪撤廃にあつまれ！	1974	1		
墮胎罪撤廃に集まろう	1974	1		
ときどきつうしん	1974			
生長の家に抗議の大デモを！	1974	3		
12.16刑法改悪 保安処分 を叩きつぶせ	1973	12		闘う女性同盟(N・W)

#### 緋文字

「中絶・ヒニン相談」のためのお願い	1972	10		緋文字 浅野京子
Sex・避妊・中絶...論じ煮詰めておまけつきティーチンのお知らせ	1972	12		

俺達に明日はない	1973	3		
避妊最新情報	1973	3		
女の性 = 生への国家管理を許すな!	1973	3		
しゅんかんし	1974	11	22	ひもんじ

#### リブ大会世話人

5月リブ大会の呼びかけ	1972	2		
第1回リブ大会整理券	1972	4		
5月リブ大会の呼びかけ	1972	3		
リブ大会いよいよ近づいた号 特別号外	1972	4		
第二エロス解放宣言	1972	4		
五月第一回リブ大会に向けて 問題提起	1972	4		
生まれてこなきゃよかったのか 私は産めるか!	1972	5		トラ(リブ大会)
女の性(セックス)について	1972	5		浅野京子(リブ大会)
連合赤軍とリブ	1972	5		カリド(リブ大会)
女と子どもが生きていくこと	1972	5		真北けいこ(リブ大会)
おんなが働くということ	1972	5		トラ(リブ大会)
おんなが働くということ	1972	5		P(リブ大会)
表彰状	1972	5		
券賞状	1972	5		
表彰状	1972	5		
5月第一回リブ大会 まずは終わった号	1972	5		

#### 優生保護法改悪阻止実行委員会

また恐ろしいヤミ墮胎の時代がくるのか	1973	3		
産める社会を!産みたい社会を!優生保護法改悪を阻止する全国集会	1973	5		
3.24優生保護法の改悪を阻止する1000人集会	1974	3		
今国会に上程中の優生保護法改悪案の成立を阻止しよう	1974	3		
優生保護法改悪案 連休明けに強行採決か	1974	5		
ポスター、ステッカー	1972	9		

#### リブ合宿実行委員会

リブ合宿ニュース no.1	1971	7		
リブ合宿ニュース no.2	1971	7		
ナツ。ン?元気カナア	1971	7		
女と子どものリブ合宿スケジュール表	1971	8		
リブ合宿を もし 取材しようと思っ ているならば	1971	8		

#### 女解放学生戦線準備会

女解放学生戦線(準)結成	1971	11		女解放学生戦線準備会、のいたし るこ
エロス解放宣言	1970	6	15	
女性解放闘争とは何か	1970	8		

反論を持つために	1970	8		女性解放連絡会議準備会、田中美津
----------	------	---	--	------------------

迫る会

隠すから見たくなる（百回指定）裁判権力と癒着する東京地裁に抗議する	1973	2		(連合赤軍)女性被告救援を通じてコトの本質にいくらかなりとも迫る会 = 以下 迫る会
迫る会 からのアピール	1973	2		
恥を知れ！！公害企業の韓国進出妓生目当ての観光団！！	1973	12		
永田洋子さんはショートカットがよく似合う	1973	12		

3.8実行委員会（準備会を含む）

女が一人で生きてゆくために！ 国際婦人デーに向けて	1972	3		
女が一人で生きていくために！ 創りあげよう、かちとろう	1972	3		

夫の暴力から逃れ、自立をめざす女たちの家」準備会

“夫の暴力からのがれ、自立をめざす女たちの家”を創ろう！ 決起集会	1975	11		
“夫の暴力からのがれ、自立をめざす女たちの家”を作ろう 決起集会	1975	11		

晶（中避連）

避妊具をおんなの手に	1971	11	3	
おまんこ コンドーム	1971	11	3	

北里大学の女のグループ

女から女へ！ 緊急アピール	1971	11	3	
映画「受胎調整」	1971	11	3	

グループ連名で発行

こどもの日のデパートは儲けるばかりじゃ片手おち 店内にベビーカーを設置せよ	1974	4		
抗議文	1974	5	5	
女がひにん子育てをひきうけるのか	1973	6		
日本医師会は態度を明らかにせよ	1973	9		
アピール	1973	12		
女の不幸は男の不幸	1972	10		

その他のグループによるもの

「婦人の差別・婦人の開放」討論集會に参加を呼びかけます	1970	11	11	
第三の性 - 第三世界	1971	2	27	
堂々勃起リブ合宿	1971	7		
10.15京都集會デモは行く行く心は残る	1971	10		

10.15京都集会デモは行く行く心は残る ピラに答えて	1971	10		
新たな女の闘いへむけて	1972	5		
関東リブ合宿の菜	1973	8		
抗議文	1973	12		
OPEN MONA LISA EXHIBITION TO ALL THE HANDICAPPED PEOPLE, LABORERS AND WOMEN DOMES- TIC AND OFFICE WORKERS!	1974	4		
ひどい！天皇を呼ぶなんて！ 11.5点農林 席の国際婦人年記念に本婦人問題会議に 抗議しよう！！	1975	11		
“離婚の家”をつくらう！	1975	12		

個人名またはニックネームで発行しているもの

田中美津

女性解放への個人的視点	1970	8		
便所からの解放	1970	8		
敢えて提起する = 中絶は既得の権利か？	1972	10		

タケ

ひらく、ひらこう、ひらけごま！	1971	9		
「ことばを放つもの死ね！」	1971	10	31	
私生児を孕め	1971	12		
「刑法212条」は胎児にしか歌えない聞く 耳を持っていない者には聞かせない！	1971	12		
12.26'71おんないろエロ思想集会	1972	12		

P

女は子宮に真向かうゾ	1972	6		
産みたくないのに、産めないのに、産ま される？	1972	6		

すが

土食離津宣言	1971	10	20	G.T.O スガ
女性解放は...	1972	12	24	

サチ

今は産まない子宮の中に凶器を胎む	1972	6		
------------------	------	---	--	--

連名

タイトル	年	月	日	発行者名
これ以上女はあやつられない！！	1972			岡田、山本
蛇頭（座談会）	1972	8		あり、ケイ、サチ、タケ、ミツ、 ユキ
我慢にもキリがある！ ストップ・ザ排 気ガス、騒音	1974	7		石橋ゆき子、会田フミ

その他

タイトル	年	月	日	発行者名
共稼ぎ主婦の私見	1970	10		佐々木和子
12.8侵略=差別と闘う女集会アピール	1970	12	8	12.8デモいい出しっぺ(H.K)
女から女への手紙	1971	6	30	N.S
立ちションのすすめ	1971	8		ノンノン
女性解放運動の方向性について	1972	3		木村久子
運動への個人的なアプローチ	1972	5		麻川まり
優生保護法改悪について 百家争鳴討論の会	1972	6		浅野京子
中絶禁止法の成立を許すな	1972	6		吉原遊里
ピルを解禁せよ！中絶の自由を闘いとるぞ！	1972	6		宮岡(岡澤澄江)
生むもじごく、殺すもじごく	1972	6		狩戸
12.3中絶禁止法を中心に子殺しから四次防まで話し合う会	1972	12		Y.K
朝鮮人の内なる姦生観光	1974	3	9	李南伊
3.30集会に向けての会議に出た時のことです	1974	3		M.K

発行者不明

井戸端会議	1970	8		
日本の女 歴史と運動の総括	1970	11	29	
すべてのおんな	1971	7		
この指とおまれ	1971	8		
かわら版	1971	8		
私にとってリブ合宿は何だったのか	1971	8		
子宮の管理は人間総管理だ	1972	10		
優生保護法改悪と避妊	1972	10		
12.8パールハーバーを忘れない 女たちの反戦集会デモ 銃後 家制度 を強化する中絶禁止法反対 に向けて	1972	12		
新春一番ティーチインのお知らせ	1973	1		
質問状 国鉄総裁殿	1973	11	6	
「生長の家」への抗議文	1974	3		
4.20優生保護法改悪阻止を闘う活動者会議	1974	4		
障害者、共稼ぎの女、山谷労働者がみられるモナリザ展を！	1974	4		

注：発行年月日の詳細が不明なものについては、「保存会」所蔵状況から推測した発行順にもとづいて並べた。

備考欄の「 」は原資料における発行者名で標準とは異なる場合の表記である。

表 1-2

発 行 者 名		件数	備 考
団 体	ぐるーぶ闘うおんな	71	
	リブ新宿センター	41	
	リブセンター世話人	3	
	思想集団 エス・イー・エックス	17	
	東京こむうぬ	18	
	闘う女性同盟	17	
	緋文字	6	
	リブ大会世話人	16	
	優生保護法改悪阻止実行委員会	6	
	リブ合宿実行委員会	5	
	女解放学生戦線(準備会を含む)	4	
	迫る会 連合赤軍女性被告救援を通じてコトの本質 にいくらかなりとも迫る会	4	
	3.8実行委員会(準備委員会を含む)	2	
	夫の暴力から逃れ、自立をめざす女たちの家」準備会	2	
	中避連	2	晶が構成員として
	北里大学の女のグループ	2	
	女の差別を考える会	1	
	ラディカル・リブ・グループ	1	
	セックスゲリラ「帰らないぞ」	1	
	リブ京都	1	
	優勢保護法研究会	1	
	関東ブロックリブ合宿実行委員会	1	
	月刊誌「宝石」世界の夜シリーズに講義する会	1	
	MONA LISA WEEPSIN BULLETPROOF GIASS PRISON	1	
	女のグループ連絡会議準備会	1	
	離婚の家を設立する会	1	
	法大リブ	*	連名で1件
	アジア婦人会議	*	連名で1件
	キリスト教矯風会	*	連名で1件
	消費者連合会	*	連名で1件
婦人民主クラブ	*	連名で1件	
団 体 の 一 員 と し て (注)	佐藤	1	ぐるーぶ闘う女の一員として
	晶	2	中避連の一員として
	のいたしろこ	1	女解放学生戦線準備会の一員 として
	トラ	2	リブ大会世話人の一人として
	カリド	1	リブ大会世話人の一人として
	P	1	リブ大会世話人の一人として
	アリ	1	東京こむうぬの一員として
	スガ	1	東京こむうぬの一員として
タケ	1	東京こむうぬの一員として	
真北けい子	1	東京こむうぬの一員として	
個 人	田中美津	3	
	タケ	5	

個人	P	2	
	すが	2	
	サチ	1	佐山サチを同一人物と見なした場合
	岡田	*	連名で1件
	山本	*	連名で1件
	あり	*	連名で1件
	ケイ	*	連名で1件
	ユキ	*	連名で1件
	石橋ゆき子	1	ユキと同一人物？
	会田フミ	1	
	佐々木和子	1	
	H K	1	
	N S	1	
	ノンノン	1	
	木村久子	1	
	麻川まり	1	
	浅野京子	1	
	吉原遊里	1	
	宮岡(岡澤澄江)	1	
	狩戸	1	
Y. K	1		
李南伊	1		
M・K	1		

注：この分類における件数は団体による発行件数に含まれる

表2 B.パンフレット・資料

タイトル	発行年	月	日	発行者
シンボ資料 優生保護法の改正	1970	10		ぐるーぶ闘うおんな
便所からの解放	1970	10		ぐるーぶ闘うおんな
甦る怨念に向けて 中絶禁止法資料集	1970	10	21	ぐるーぶ闘うおんな
3.11集会討論資料	1971	3	11	集団エス・イー・エックス
資料 母へのラブレター	1971	5		
女の子殺しを考える集会資料(-)	1971	5	8	ぐるーぶ闘うおんな
女の子殺しを考える集会資料	1971	5	8	ぐるーぶ闘うおんな
びらびら集	1971	5	未	
中絶禁止法反対 6.18集会討論資料	1972	6		P
ナイチャアの女からウチナンチュウのとりわけ A サインのおんなへ	1972	10	2	タケ・スカ
リブ論第1集	1972	11	1	ぐるーぶ闘うおんな、緋文字、集団エス・イー・エックス、闘う女性同盟
生理痛から始まってビルを解剖する	1973			緋文字
資料 母乳のPCB汚染	1973	4		東京こむうぬ
資料 働く母、未婚の母差別裁判	1973	5		東京こむうぬ 真北けい子
とうりゃんせ	1973	5	13	東京こむうぬ
リブ論第2集「告げる明日」	1973	6	30	リブ新宿センター
産める社会を産みたい社会を	1973	6	30	優生保護法改悪阻止東京実行委
子殺し資料集1	1973	6	30	リブ新宿センター
女と男	1973	12	30	リブ新宿センター
ABOLISH THE EUGENIC PROTECTION LAW!	1974	1	13	リブ新宿センター
とうりゃんせ	1974	2	11	東京こむうぬ
ビルばっかりの本	1974	11		緋文字
東京こむうむがベビーカー問題を突く	1974	11	30	東京こむうぬ
リブ白書	1974	12		リブ新宿センター白書作成グループ
生活写真集「東京こむうむ」の子供たち	1975	5		東京こむうぬ
「東京こむうむ」解散をむすんで	1975	7		東京こむうぬ
モナリザスプレー事件公判資料	1975	7	20	モナリザスプレー上告審を共に闘う会
モナリザスプレー事件上告趣意書	1975	9	27	モナリザスプレー上告審を共に闘う会

表3 C. 定期刊行物

タイトル	号数	発行年	月	日	発行者
さけび(闘うおんな機関紙準備号)		1971	2	14	ぐるーぷ闘うおんな
リブニュース	No.1	1971	8		ぐるーぷ闘うおんな
ことり通信	No.4	1971	9		眞壁千秋
5月リブ大会に向けて ニュース	No. 1	1972	2		5月リブ大会世話人一同
5月リブ大会に向けて ニュース	No. 2	1972	3		5月リブ大会世話人一同
5月リブ大会に向けて ニュース	No. 3	1972	3		5月リブ大会世話人一同
5月リブ大会に向けて ニュース号外	No. 3	1972	3		5月リブ大会世話人一同
5月リブ大会に向けて ニュース	No. 4	1972	4		5月リブ大会世話人一同
リブニュース この道ひとすじ	創刊号	1972	10	1	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 2	1973	3	1	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	ミニ版 No. 1	1973	5	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 3	1973	6	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	ミニ版 No. 2	1973	7	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 4	1973	9	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 5	1973	10	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 6	1973	11	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	号外	1974	1	1	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 8	1974	2	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No. 9	1974	3	24	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	ふるく号	1974	3		リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.10	1974	4	20	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	号外号	1974	5	22	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.11	1974	5	23	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.12	1974	7	30	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.13	1974	9	19	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.14	1974	11	23	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.15	1975	2	10	リブ新宿センター
リブニュース この道ひとすじ	No.16	1976	2	10	リブ新宿センター
阿修羅 準備号	2005年2月13日号	1973	2	13	迫る会
阿修羅	2005年3月13日号	1973	3	13	迫る会
阿修羅	2005年4月13日号	1973	4	13	迫る会
阿修羅	増刊号	1973	9		迫る会

(いのうえ てるこ / ながお ようこ / ふなばし く に こ)